

あの日から、もうすぐ一年  
支え合って、一歩ずつ

■東日本大震災 激動の一年

## 歩み

P 2—11

はつらつママさんバレーボール

P 14

教育奨励賞・市民文芸賞

P 16

旧長内中学校敷地内に建つ応急仮設住宅。東日本大震災の発生からもうすぐ一年。入居する皆さんは、今もしっかりと支え合い、一歩ずつ前に進もうとしています。(2月19日・関連記事10頁)

平成23年3月11日、東日本大震災発生。

信じられない、信じたくないほどの惨状から、久慈市は復旧・復興を目指し進んできました。沿岸部を覆っていたがれきはもうありません。しかし、目に映る光景は変わったとしても、被害にあった人たちの悲しみや、つらさまでも消えたわけではありません。

あの日から、もうすぐ一年。私たちは支え合い、立ち上がり、災害に備える意識を持って、激動の一年を歩んできました。その中にある、忘れず、大切にしなければならぬこと。東日本大震災と、一年の歩み。これからのために、皆さんにも一緒に考えてほしいと思います。  
(11頁まで)

## 東日本大震災 激動の一年

# 歩み

### 一年前の久慈市の姿

復旧・復興に向かう勢いと、徐々に作業が進み、沿岸部が元の姿を取り戻しつつある中、少し、ほんの少しでも忘れていく人はいないでしょうか。全てが破壊されたこの状況。これは知らないまちの惨状ではなく、東日本大震災の被害を受けた一年前の久慈市の姿。平成23年3月11日14時46分ころ、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の大きな地震が発生。約40分後、沿岸部を襲った大津波により、私た

ちのまちは壊滅的な被害を受けました。

漁港施設や漁船、沿岸部に立地する工場や家屋などを一瞬にしてのみ込み、命までも奪った無慈悲な大津波。波が引いた後には、元の景色や町並みなどはありません。沿岸部一帯が、わずかな時間だけがれきと泥、数えきれないほどの悲しみや悔しさで埋めつくされてしまいました。市全体の被害額は約310億円。しかし沿岸部に広がった惨状と、被害を受けた人たちの苦しい心情は、どんな金

額や数字でも表せないほど、大きなものでした。

### 激動の歩みの中に

あれから一年がたとうとする今、沿岸部にはがれきではなく、新しく建てられた施設や資材が、悲しみを抑え込み、力強く立ち上がっている人たちの姿もあります。再起に向かって奮起した激動の一年。振り返ると、私たちが忘れてはいけないこと、これからも大切にしなければならぬことが、その歩みの中にありました。

### 震災直後の半崎地区

ほぼ全ての地上施設が破壊され、すさまじい惨状が広がった久慈国家石油備蓄基地周辺。産業と雇用の拠点の一つでもある半崎地区は、大津波によって、その機能を完全に停止しました

### 東日本大震災・被害概要 (1月31日現在)

#### ●発生状況

平成23年3月11日14時46分ころ、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の地震が発生し、久慈市でも震度5弱を観測しました。地震により市内全域で停電と断水が相次ぎ、14時49分には大津波警報が発表。約40分後、大津波が沿岸部に襲い掛かりました。避難者は最大で2,916人。食料や燃料など物資の不足が続き、被害の有無に関わらず、全市民の生活が大混乱に陥りました。

#### ●津波関係

波高	遡上高	浸水面積
8.6m (気象庁・久慈港)	27m程度 (市調査・久喜漁港)	約2.8km <sup>2</sup> (市調査)

#### ●人的被害

死亡	行方不明	重傷	軽傷
4人	2人	2人	8人

#### ●建物被害 ※ ( )内は住家のみ

全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	計
355棟 (65)	89棟 (32)	410棟 (180)	394棟 (291)	1,248棟 (568)

#### ●被害額

総額	310億9,015万円		
主な内容	○商工関係(106社)	149億5,267万1千円	
	○水産関係	89億4,281万9千円	
	○住家関係(1,248棟)	42億1,438万3千円	

### ●現在の半崎地区

復旧・復興に向けた楯音が響く半崎地区。震災直後とは一変し、久慈国家石油備蓄基地周辺は、がれきではなく大量の資材が置かれ、多くの工事車両が行き交っている。(2月14日撮影)



# 支え

危機的状況に直面し、自然と支え合った私たち。  
そこには、確かな絆と、人を思いやる心がありました。

被災した人たちの助けに。支え合いの心が結集した災害ボランティアの活動(3月24日)



## 支え合った私たち

平成23年3月11日、襲い掛かった大津波によって壊滅的な被害を受けた沿岸部。被害の全容すら見通せないほどのすさまじい惨状に加え、市全域で停電と断水、電話も一部不通となり、私たちは大きな不安と混乱に陥りました。そんな厳しく困難な状況の中、私たちが自然にしたことは「支え合い」。避難所でも地域でも互いを思いやり、声を掛けあい、不足する物資なども分け合いました。家族や親類、友人だけでなく、普段はあまり接したことのない人とも、困難を乗り越えるため、不安を和らげるため、分け隔てなく支え合い続けました。

## 活動で少しでも力に

3月19日から被災世帯のが

れき撤去や清掃に取り組んだ久慈地区災害ボランティアセンター。この活動の源も「支え合い」の心でした。

防災行政無線の放送を聞きつけ自ら支援の手をあげた老若男女。「少しでも力に、助けに」と、誰もが必死になつて泥とほりにまみれながら作業を進めました。応急仮設住宅への引越し作業など、7月9日まで続いた活動。延べ1454人が活動しました。

## 駆けつけ、力尽くす

危機的状況に直面した東日本を支援しようと、全国から久慈市に駆けつけてくれた人たちもいました。自衛隊員や消防職員、警察官などです。給水や避難所などへの炊き出し、危険が伴う現場でのがれき撤去や行方不明者の捜索など。それぞれが専門的な技



水門閉鎖、避難誘導、行方不明者の捜索活動のほか、自らの地域も支え続けた消防団員。その活動は使命感と地域愛に満ちていました



## ■善意の結晶 228隻の函館義援船

東日本大震災で失われた市内の漁船は575隻。厳しい状況に陥った久慈市の漁業者を支援しようと、函館市内漁業協同組合長連絡協議会と函館市から職船228隻が無償で提供されました。(6月5-8日)



- 1/全国から山のように届いた救援支援物資(3月16日)
- 2/街頭で募金を呼び掛ける高校生ら。多くの善意が集まりました(3月21日)
- 3/小学校などを訪問し、子どもたちを元気づけたさかなクン(4月13・14日)
- 4/学習院大学の学生も訪れ、支援活動(7月18-22日)
- 5/久喜小児童の心を癒やした岩手大学天文部(7月23日)
- 6/復興を願い、美しい音色を響かせたN響復興支援コンサート(8月9日)
- 7/二十山親方が所属する春日野部屋は、力士との交流で励まし(8月15-22日)



## 願いがこもった支援

全国、世界の人も被災者に心を痛め、私たちを応援してくれています。本市出身者や関係者、これまでに交流があった人たち。久慈を訪れたことはなくとも、何とか力になりたいと願った人たち。姉妹都市のアメリカ・フランクリン市、リトアニア共和国クライペダ市など、海外からも多くの支援が寄せられました。

地域のつながりの強さを語る廣崎國雄会長



## 確かな絆と心を実感

隣近所や人間関係の希薄化が問題の一つとされる現代社会ですが、震災後の傷ついたまちには、人の絆と、人を思いやる心であふれていました。大きな被害に見舞われた久喜地区は、特に絆の強さが表れた地域の一つ。久喜地区会の廣崎國雄会長は震災直後を振り返りながら語ります。

「もともと久喜はまとまりのある地域。大震災でも誰もが自然と助け合いました。手分けをして、炊き出しや、がれきなどの片付け、物も分け合いました。助け、助けらるのが地域です。誰もが一人では生きられないですから」人々との確かな絆。実感した人は少なくないはずだ。

## 忘れずに、支え、寄り添って

久慈地区災害ボランティアセンター 高谷淳子 本部長

を誰一人忘れてはいけません。先日、震災を経験した子どもが大人になるまで寄り添うための団体をみんなで立ち上げました。助け合っていかなければ、生きていくのも大変な時代です。これからも、みんなで一体となって支え、寄り添うことが必要だと思います。

誰もが持っている人を思いやる心。それが、かたちに表れたのが今回の震災だと思います。津波で一瞬にして身の周りの全て、築いてきた歴史の全てを失った人がいます。がれきが片付いたとしても、その大変さは変わりません。自分のまちに、すぐ近くにそんな人がいること



# 奮起

「やるしかない」。抑え込んだ悲しみや、つらさ。苦境から、多くの人が再起に向けて立ち上がりました。



奮起し、漁を再開した漁業者。船の上は漁業者の決意と熱気で満ちあふれていました

## 支援などに励まされ

漁船、漁具を奪い去り、漁港施設や工場、事業所などで破壊した大津波。大震災で特に大きな打撃を受けたのは商工業と漁業関係でした。

これまで経験したこともないような危機的状況。しかし、再起に向けた立ち上がりは、驚くほど早いものでした。

壊滅的な被害を受ける中、戸惑いや悲しみ、悔しさ、つらさがないわけがありません。多くの支援に励まされながら、それらの感情を抑え込み、「やるしかない」と覚悟を決めて立ち上がったのです。

## 海で生きる覚悟決め

漁業者は震災直後から、漁港周辺の片付けや、がれきの撤去作業などを開始しました。自ら他県にも足を運び、漁の

再開に不可欠な船の調達に奔走。応急復旧作業を急ピッチで進めた市営魚市場は、3月30日の開場にこぎつけました。

まだ漁も十分にできない状況にもかかわらず、二子漁業生産部（中平武雄部長）は奮起し、5月5日に二子朝市を開催。震災から2カ月足らずでの開催は、被災した人たちが周囲の漁業者をも勇気づけるものでした。

6月5日から8日にかけては、函館市内漁業協同組合長連絡協議会と函館市から228隻の義援船が、6月23日からは順次、義援船を利用しての漁も開始され、徐々に港に活気が戻っていきました。

甚大な被害を受けながらも、「海しかない。これからは海で生きる」と強い気概と覚悟をもって奮起した漁業者。震災に屈せず、本年度も夏イカ

## 不安を抱えながらも

再起に向け、奮起したのは企業なども同じです。産業と雇用の拠点の一つでもある沿岸部。商業関係57社、工業関係49社、計106社もの企業が建物や機械設備に被害を受けましたが、国などの支援もあり、その多くが操業再開を果たしています。

## 感じられたのは底力

久慈市の魅力を全国に発信してきた観光などの関係者も力強い姿を見せてくれました。全壊した地下水族科学館もぐらんぴあは、試行錯誤を重ね、8月5日に「もぐらんぴあ・まちなか水族館」として再出発。昨年8月に完成したばかりの小袖海女センターも流出しましたが、小袖北限の海女の会（大向広子会長）は、「伝統を守り、地域に活力を与えるために」と、素潜り漁の実演に踏み切りました。

9月15日から18日まで開かれた久慈まつりには、山車小屋が被災した「に組」、被害が大きかった久慈湊地区のみこし組「湊宝心会」も参加。熱気に満ちた秋まつりは、久慈市の底力と将来への希望を感じさせてくれました。



## 強い気概を見せた漁業者

津波で漁港施設が破壊され、船や漁具も奪われながらも、再起に向けて奮闘した漁業者。函館義援船などの支援を受けながら続々と漁を再開。「これからも海で生きる」という強い決意と気概を見せました

## 震災に屈しない 再起に向けて奮起した久慈の底力

- 1 立て直しに向けた第一歩。悲しみを抑え込んで進めたがれきの撤去作業
- 2 3月から自力で復旧作業を進めた北日本造船久慈工場
- 3 5月に早期再開を果たした市漁業協同組合の冷凍工場
- 4 被害から新築移転を決断。室電子工業㈱と市による工場立地協定書調印式(6月24日)
- 5 全国からの応援も受け、まちなかで再出発を果たした「もぐらんぴあ」(8月5日)
- 6 今年の夏も伝統を絶やさず実演を行った北限の海女
- 7 被災したに組も見事な山車を披露。底力を見つけた久慈秋まつり(9月15-18日)



早期再開したマルサ嵯峨商店の第一工場。国への補助申請など、同社は同業者のまとめ役として、復旧事業を先導しました

長引く景気の低迷に追い打ちをかけるように襲い掛かった大津波。再起の決断は簡単ではなかったはず。それでも立ち上がったのは、自社の誇りや、地域、社員への強

苦境から再起に向けて奮起する人たち。復興を果たすその日まで、皆で支え続けていくべきではないでしょうか。



## 久喜の将来のため、手放すわけにいかない

再開に向けて2月に始動 久喜屋形定置漁業 久世修三 代表

船に網、倉庫に番屋、車なども全て津波で流出。はしの一本も残りませんでした。全てが流されたのは、県内でもここだけだと思います。

地域で共同出資して平成元年から操業し、大切な地域の雇用の場となった屋形定置。久喜の将来のため簡単に手放すわけにはいかないと

思いました。一年休業し、復旧の手だてを模索。行政などからの支援と、地域の理解と協力のおかげで再開に向けて踏み出すことができました。

2月11日から、漁再開に向けた作業を始めています。まだまだ課題はありますが、今後は前進あるのみです。完全復旧を目指していきます。



毎回、来場者が長い列をつくる二子朝市。朝市の盛り上がりは、漁業者の気概と消費者の期待の表れです

## 冬の津波襲来を想定 久慈湊小学校津波避難訓練



# 備え

逃げた。必死で逃げた。だからこそ助かった。  
このことを、津波の怖さを絶対に忘れてはいけない。

**要因はすばやい避難**  
大震災で、気象庁が観測した久慈港の津波の高さは8.6m。市の調査では久喜漁港に遡上した高さ約27m。久慈市に襲い掛かった津波は、他の市町村と比べても小さいものではありませんでした。それにも関わらず、県沿岸南部とは人的被害の人数が異なった久慈市。その理由は津波防災施設の整備状況や、地形、津波の到達時間、情報などの条件がそろっていたことに加え、避難がすばやかだったからだと考えられます。声を掛けあい、逃げたからこそ助かった。もし避難が遅れていたら久慈市の人的被害は何倍、何十倍にもなったことでしょう。大震災で痛感させられた生

死を分ける防災意識と避難の重要性。私たちはこのことを決して忘れずに、将来に伝えていかなければなりません。  
**表れた意識の高まり**  
6月15日、市は震災後初となる津波避難訓練を実施しました。大震災の被害状況を踏まえ避難場所や避難経路などを一部修正。今回の津波が川を約4m遡上したことを受け、海岸水門に加えて河川水門の閉鎖訓練も行いました。訓練に参加した住民の人数は、昨年度の1.7倍となる約1400人。消防職員も消防団員も住民も、誰もが真剣に訓練に取り組みました。恐ろしく、悲しい経験を通じて、浸透した津波に対する心構え。備えと意識の高まりが訓練に表れました。

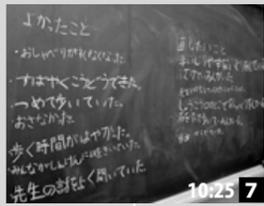
**被害ゼロの結果生む**  
震災後も岩手県沿岸には4月7日、6月23日、7月10日の3度、津波注意報が発表。千年に一度ともいわれる大震災ですが、今回が大きかったからと言って、これではしばらくの間、津波が襲ってこないという保障は一切ありません。津波は、今日か明日にでも、再び襲ってくるかもしれないのです。そんな中、震災後さらに意識を高め、津波防災に力を入れている人たちがいます。その一つが久慈湊小学校。同校は、平成22年2月28日に大津波警報が岩手県沿岸に発表されたのを機に、津波防災に懸命に取り組んできました。地域や行政と連携しながら、独自に避難場所を設定し、訓練と防災学習も導入。児童用に「避難カード」を作成し、登下校時や休日、どこに避

難するかなどの約束事を各家庭と事前に取り決めました。大震災が発生した3月11日、学校は午前授業でしたが、児童は校庭や公園、自宅などからそれぞれ避難。懸命な取り組みが「人的被害ゼロ」という結果を生みました。  
**おびえるのではなく**  
実行されたすばやい避難。それでも同校は安どすることなく、今回よりも短時間で津波が襲来することを意識し、6月14日に訓練。寒く足場が悪い状況下でも、同校が目標とする「15分以内の避難完了」を達成できるよう、1月26日も訓練を実施しました。昨年度から津波防災活動を担当する小野寺俊哉副校長は、真剣な表情で語ります。「取り組みによって職員や子どもたちの防災意識が高まり、地域との連携や保護者との信頼も強まったと思います。津波におびえるのではなく備えるため、今後も訓練と学習、避難方法の工夫と改善を積み重ねていきたいと思えます」命のため、避難と備えを徹底。そこに油断はありません。

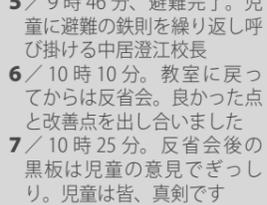
**最大規模を想定し、備えと意識を**  
久慈広域連合消防本部 松野下富剛 消防長  
人も物も全てをのみ込んでしまう津波。あの日誰もが生きるために必死だったはず。しかし一年がたとうとする今、がれきに覆われた沿岸部の姿は変わり、あの恐ろしさを忘れつつある人もいるのではないのでしょうか。私たちに必要なことは、絶対に過信せず、災害に備える意識を持つこと。そして一人一人が生き証人となって語り継ぐことだと思います。私は、あのすさまじい惨状を忘れたことはありません。朝か夜か、明日か10年後か、いつ襲ってくるかわからない津波。最大規模を想定し、避難する備えと意識を持ち続けてください。



目標は15分。"最悪"を想定し、より早く、的確に (平成24年1月26日実施)



1/9時30分、地震発生。すぐに机の下に避難する児童  
2/9時32分。停電で放送設備が使えないことを想定し、鐘と声で避難指示  
3/9時32分。あらかじめ用意するのではなく、普段掛けられている場所から上着を着用  
4/9時40分。列を乱さず避難  
5/9時46分、避難完了。児童に避難の鉄則を繰り返し呼び掛ける中居澄江校長  
6/10時10分。教室に戻ってからは反省会。良かった点と改善点を出し合いました  
7/10時25分。反省会後の黒板は児童の意見でぎっしり。児童は皆、真剣です



避難と備えの重要性を語る小野寺俊哉副校長



避難と備えの重要性を語る小野寺俊哉副校長



12mの防潮堤を越える津波に襲われた久喜地区。人的被害がなかったのは、地域の結束とすばやい避難があったからです

## 震災から一年 話してくれた今の思い

9世帯 23人が入居する旧長内中学校敷地内の応急仮設住宅 (長内仮設住宅)



5世帯 14人が入居する旧久慈水産高校敷地内の応急仮設住宅 (玉の脇仮設住宅)



毎日を過ごす家、お気に入りの家具や服、思い出の品や車、生活を支える仕事など…。同じ久慈市の中に、大津波で“日常の生活”を失った人がいます。大切な家族まで奪われた人もいます。今回、応急仮設住宅に入居する2人の方が今の思いを話してくれました。大きな被害にあった人たちは、不安や悩みを抱えながらも一歩ずつ前に進もうとしています。震災からの一年と、これからの生活やまちに思うこと。同じ久慈市民として、2人の思いを感じ取ってほしいと思います。



長内仮設住宅 橋場 剛さん (湊町)

いずれは生まれた土地に願いは、娘や孫が犠牲にならない将来のまち

さまざまな支援もいただき、仮設住宅にもなれて、今は生活も少し落ち着いています。何もかも津波で流されてしまいましたが、家族4人とも命は無事。何とか私も仕事がつながっていますし、2人の娘も職場や学校で頑張っています。ただ、今の場所は生まれ育った土地ではありません。どうしても自分が暮らしてきた湊町が恋しくなる時があります。今住んでいる住宅は、いつか出なければなりません。いろいろ

と考えますが、海から離れた場所にするにしても、いずれは湊町に戻りたいと思っています。あの日から一年がたとうとする今、正直、震災に対する温度差を感じるときがあります。津波は、いつか必ず襲ってきます。被害がなかった人にも、この震災を忘れないでほしいです。今、思うことの一つは、将来の防災です。娘や孫などの世代が津波の犠牲にならないよう、考えたまちづくりを進めてもらえんことを願っています。



玉の脇仮設住宅 外野トシ子さん (長内町)

人の励ましが心の支えに。まだ、これから。震災を忘れないでほしい

久慈大火でも被害にあい、家を失うのは今回で二度目。逃げる準備はしていましたが、想像以上に大きな津波でした。津波にのまれ、建物のガラスが割れる音が、今も耳に残っています。泣く暇もないような一年でしたが、美容師の仕事仲間や、店の再開を待っていてくれるお客さん、地域の人などの励ましに支えられ、生活は苦しくても心は折れずにすんでいます。津波の心配のない場所に家を建て、また美容院を開きたいと

思っていますが、不安は尽きません。お金を借りられても返せるかどうか。正直あと10歳若ければ、まだよかったと思います。将来に悩みや不安を抱えている人は周りにもいます。がれきが撤去され、浜や町並みはきれいになってきましたが、生活の立て直しは、まだこれからです。震災で、あらためて家や物、人の大切さなどに気づかされました。被害にあわなかった人にも津波の怖さや思いやりなどの大切さを忘れないでほしいです。

## 胸に刻み、心を一つに

東日本大震災による、さまざまな惨状と生活の混乱。被害にあった人だけでなく、全ての人が恐怖や不安、人や物などの大切さを痛いほど感じたはずですが、あれからもうすぐ一年。がれきは撤去され、電気や電話は通じ、水道も出ます。スーパーなどにも物が充実し、燃料もあります。被害が少なかった人の生活は、ほぼ震災前に戻ったことでしょう。そんな中、震災で痛

も忘れられない人が大勢います。それは、震災が「過ぎ去ったこと」ではないからです。今はまだ再起に向かっている途中。本当の復興と生活の立て直しは、まだ先のことなのです。この一年を振り返ると、しっかりと支え合い、災害に備えてきた私たちの姿がありました。不安を抱えながらも再起を目指す人たちを支え、いつの日か必ず襲ってくる津波の犠牲にならないためには、震災と、この一年の歩みの中で感じてきたことを忘れてはいけません。

人は、生きていくために、つらい記憶を無意識に忘れようとするといえます。しかし被害にあった人の中には、忘れたくて

大切なのはこれからです。同じ久慈市民として胸に刻み、心をついにし、みんなで前に進んでいきましょう。

時間がたち、  
復旧・復興が進み、  
たとえ、被害を伝える光景が目には見えなくなったとしても  
私たちは忘れてはいけない。  
津波の怖さと備える意識、  
そして、支え合うことの大切さを。  
再起に向けて立ち上がる人たちを、  
立ち上がろうとする人たちを、  
同じまちに住むものとして、  
しっかりと支えていきましょう。  
復興を、みんなが実感できる  
その日まで。

鎮魂と復興を祈念し、  
3月11日に黙とうを

3月11日(日)14時46分、市営魚市場前で、黙とうと献花を行います。

犠牲になられた方の鎮魂と、まちの復興に向け、みんなで祈りをささげましょう。

- 14時30分までに会場にお集まり願います
- 献花用の花は各自持参願います
- 駐車場に限りがありますので、相乗りなどでご来場願います



素直な思いと  
願いを映像に



復興願う作品上映

夢と久喜の海  
映像に思い込め

被災地支援の一環で9月に開かれたパナソニック映像出前講座を機に、復興の願いを込めたビデオ作品の制作に取り組んできた久喜小学校。2月15日、保護者や地域の人たちを招き、完成したビデオ作品の上映会を開きました。

はじめに澤田晶子校長が「子どもたちの夢と海への思いが詰まった宝のような作品です。ご覧ください」とあいさつ。6年生が中心となって完成させた「生きる～久喜の海とともに～」のほか、9月の出前講座で制作し、宮城県・福島県の児童の映像とともに東京国際映画祭で上映された「今・伝えたいこと」、「未来へ」の3作品を上映しました。

子どもたちが今の夢や震災後の素直な気持ちを語っていく映像を、じっと見つめる保護者たち。「久喜で暮らしていきたい」「豊かな久喜の海でいてほしい」と締めくくられた作品に、保護者たちも自身の思いを重ねていました。



上・下/大人、子ども、誰もが真剣。言葉も発せず作品を見つめました

TOPICS 震災関係



熱弁をふるう南正昭教授

震災から学ぶ生涯学習フォーラム

想定外の復興と  
子ども中心の  
絆づくりを—

震災から学ぶ生涯学習フォーラムは1月28日、アンバーホールで開催。教育関係者など約200人が参加しました。はじめに岩手大学の南正昭教授が「岩手三陸における復興まちづくりに向けて」と題して講演。南教授はまちにおける道路などの重要性を訴え、「想定外の大きな被害。三陸の文化を伝え、つくっていくために復興事業も想定外でなくては」と熱弁しました。



上/地域の活動事例を発表した谷地会長(右)と上山会長  
下/コーディネーターとして意見をまとめた新妻教授(左)

講演の上山昭彦会長、荷軽部地区同会の谷地勇会長など3人が絆づくりの事例を発表しました。最後にコーディネーターを務めた岩手大学の新妻二男教授は「子どもは地域の一員です。守るだけでなく子どもを頼りにし、つながりを持つことが必要では」と、子どもを中心とした絆づくりを呼びかけました。

TOPICS 防災関係



出席者で記念写真。表情に意欲がみなぎります

寺里自主防災会に認定証

防災力向上  
地域結束に  
期待大

市は2月2日、寺里自主防災会(山崎石雄会長・加入408世帯)を市内6団体目の自主防災組織に認定しました。認定証の交付後、山内隆文市長は「災害時に身近なところで力を発揮するのが地域の皆さんです。安全・安心を守るとともに地域の活性化に向けて活動してください」と激励。山崎会長は「地元消防団や消防協力会とも連携しながら、助け合いの精神で取り組んでいきます」と力を込めました。災害から地域を守るための自主防災組織。認定を機に、さらなる防災力向上と地域の結束が期待されます。

1月11日～2月10日受付分

東日本大震災で大きな被害を受けた本市に、救援支援物資や義援金、市への寄付金が全国各地から寄せられました。

1月11日～2月10日までに受け付けた分は次のとおりです。(敬称略) 熱い支援ありがとうございます。

被災者への救援支援物資、義援金、市への寄付金

熱い支援に感謝

**救援支援物資**

【富山県】▼(株)明文堂ブラ  
ンナー

【盛岡市など】▼特定非営利活動法人難民を助ける会▼盛岡ロータリークラブ・久慈ロータリークラブ

**義援金**

【振込】

- 岩手銀行久慈中央支店
- 普通預金 2057188
- 久慈市地震災害義援金

※入金前に下記まで連絡をお願いします  
社会福祉課 ☎ 52-2119

【現金】  
市役所で受け付け中

【県外】

- 【埼玉県】▼協和自動車輸送(有) 朝霞センター▼協和自動車輸送(有) 川越センター
- 【千葉県】▼関口英行
- 【東京都】▼五味秀春
- 【神奈川県】▼神林洋行
- 【大阪府】▼田保蓉子
- 【県内】
- 【盛岡市】▼(有)ワイアンドケイ▼岩手県母親大会連絡会
- 【市内】
- 【企業・団体】▼エルコリーヌ

**寄付金**

【個人】▼渡邊光男

【口座振替】

- 【個人】▼エノモト・ツカコ▼オクムラ・カツア▼ササキ・トシミ▼ソトノ・ノボル▼タテハタ・ユリ▼ヒナタ・キヨシ▼マザワ・トモヒロ
- 【その他】▼匿名1件

【県外】

- 【埼玉県】▼山内英世
- 【県内】
- 【奥州市】▼大林寺
- 【市内】
- 【団体】▼久慈商工会議所青年部▼小久慈町岩瀬張町内会

**募集 義援金で協力を**

市では、久慈市地震災害義援金を募集しています。この義援金は、市内の被災した方々に分配されます。どうか皆さんのご協力をお願いします。

▼受付期間  
平成25年3月31日まで  
※1年間延長しました

**▼受付場所(現金)**

- ① 社会福祉課(市役所1階)
- ② 山形総合支所
- ③ 各支所(宇部、侍浜、山根)

▼その他の受付方法

- ① 現金書留：宛先はこちら  
〒028-8030  
久慈市川崎町1番1号  
久慈市役所社会福祉課
- ※表に「救助用郵便」と明記してください
- ② 口座振込：金融機関名や口座番号などは、上の枠「義援金」のとおりです

※2月10日現在、久慈市に寄せられた義援金は972件、8111万9707円です

☎ 社会福祉課 ☎ 52-2119

お知らせ 国保など医療費負担  
らせ 9月まで免除延長

国民健康保険、後期高齢者医療制度に加入する一定の被災者は、免除証明書を提示することで医療機関での支払いが免除されます。

この免除証明書の有効期限が「9月30日まで延長」になりました。今お持ちの証明書はそのまま使用できます。

※入院に係る食事代などの免除期間は2月29日で終了

☎ 市民課 ☎ 52-2118



笑顔でおにぎりをほおぼる児童

熱々の優しさかみしめる

富山県高岡市の戸出西武小学校から、児童などが心を込めて作ったコシヒカリ120が久慈小学校に届き、2月1日、7日、13日に、おにぎり試食会が開かれました。かわさき栄食が無料で炊飯に協力。児童は、教職員と保護者が一緒に

なって作った熱々のおにぎりを笑顔でほおぼり、優しさをかみしめました。

東日本大震災の被害を心配した戸出西武小から応援メッセージが届いたのがきっかけで、手紙交換など交流を深めてきた両校。試食会後も久慈小児童はペンを取り、戸出西武小と、かわさき栄食に手紙を送り、感謝の気持ちを伝えました。

- 1/大会決議で、市民協働を呼び掛けた舛森聖風さん
- 2/講演した海原純子氏
- 3/見事な作品がずらり展示



環境衛生功労団体として市長表彰を受けた来内小学校(右)。継続する清掃活動や環境美化活動が評価されました

活動功労者などを表彰

久慈市民大会・市民生涯学習のつどいは2月18日と19日、アンバーホールで盛大に開催。期間中は、学習成果作品展として書道や絵画などの作品が展示されたほか、18日にはステージ発表も行われ、多くの人が訪れました。

19日の式典には700人が出席。生涯学習に励んだ24人と、交通安全や防犯、環境衛生活動に力を尽くした43人・11団体が、山内隆文市長などから表彰されました。

受賞者あいさつでは、生涯学習士認定者として表彰された大上貴子さん(大川目町)が「私たちは人との絆と、生きる希望をもとに復興に向かって進んでいます。今後も学び、貢献、発信をモットー

よりよいまちへ  
協働を誓おう

に、活動にまい進します」と、力強く抱負を述べました。

大会決議では、舛森聖風さん(宇部中3年)が真っすぐ前を見据え、決議文を暗唱。出席者は大きな拍手を送り、市民活動の活性化と、より安全で住みやすいまちを目指し、協働して取り組むことを誓いました。

今を大切にと呼び掛け

式典後は、医学博士で白鷗大学教授の海原純子氏が「災害と心のケア」と題して記念講演。ストレスの解消法だけでなく、自身の経験も踏まえながら「命」や「幸せ」について考えを述べ、「不安でいっぱい」の時代だからこそ今を大切に。ぜひ素敵な生き方をし、次の世代に残してください」と優しく呼び掛けました。

地元愛で胸打つ熱演

2月18日にアンバーホールで行われた市民生涯学習のつどい舞台部門で、山根若者の会(細畑賢会長)は演劇「大久保タダラ」を上演しました。舞台は江戸時代末期の山根。釜石の新しい高炉建設にあたり、山根に残る

か離れるかで揺れる製鉄職人たちを描き、地元愛の大切さを訴えました。出演者は方言たっぷりに地元への思いを込めて熱演。心に響くせりふと演技は250人の胸を打ちました。迫真の演技で観客をひきつけた佐々木明美さんは「お客さんにも思いが届けばうれしいです」と笑顔で話していました。



「大久保タダラ」の一場面

- 1/基本から丁寧に指導
- 2/懇親会では思い切り談笑
- 3/笑顔でハイタッチ。憧れの選手とのふれあいに興奮



市選抜チームとの親善試合。夢のような対戦に、ママさん選手はもちろん、客席も沸き立ちました

元気と力くれた  
夢のメンバー

12人の豪華メンバー

夢の豪華メンバーが再び久慈に。宝くじスポーツフェア・はつらつママさんバレーボール in Kurijiは2月18日と19日、市民体育館で開催。東京オリンピック金メダリストで、「東洋の魔女」と呼ばれた河西昌枝さんや、元代表選手で現全日本男子代表監督の植田辰哉さん、テレビでもおなじみの大林素子さん、大山加奈さんなど、世界で活躍した12人のバレーボール元日本代表選手が、一流の技術と気さくな笑顔で久慈市に元気と活力を与えてくれました。

憧れの選手に大興奮

同フェアの開催は平成18年以来5年ぶり。18日はママさん選手やスポ少・学校の指導

者を対象とした指導者クリニックと、ふれあい懇親会が開かれました。

19日は、はじめにバレーボール教室を開催。中学生やママさん選手が、メンバーから基本動作や上達のコツを学びました。憧れの選手との夢のようなふれあいにコート上だけでなく、1250人で埋まった客席も大興奮。スパイクでボールを的に当てるアトラクションや、市選抜チームとの親善試合、豪華賞品が当たる抽選会も行われ、会場は最後まで盛り上がり続けました。前回のフェアでも訪れたヨーク・ゼッターランドさんは、「皆さんと一緒に時間を過ごせたことに感謝。震災で大変な状況ですが、少しでも力になれたのならうれしいです」と思いを込めていました。

INTERVIEW

元気なママさんでいてほしい!

皆さんとのふれあいを楽しみにしてきました。今回のフェアが少しでも皆さんの活力につながれば。特にママの皆さんには健康のためにもバレーボールを続けてほしいです。震災という大変なこともありましたが、元気なママさんでいてほしいですね。



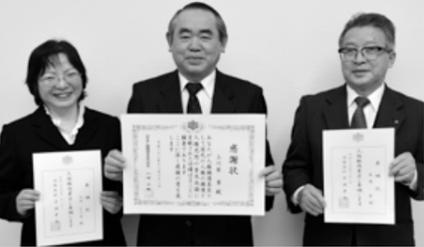
夢のメンバー・五輪3大会に出場 吉原 知子さん

貴重な機会。本当に良かった!

指導者クリニック、バレーボール教室、親善試合に参加。メンバーの皆さんからは基本の大切さをあらためて教わりました。テレビで見えていた人たちとふれあえる貴重な機会。参加できて本当に良かったです!



参加チーム・マリンローズ 長根美穂子さん(右) 大下千佳子さん(左)



人権擁護委員

上川原さんに感謝状  
委員新任は三河さん

1月30日、昨年12月末付けで人権擁護委員を退任した上川原勇さん（写真中央）に感謝状が、後任で新任の三河えり子さん（同左）と、再任された香木正さんに委嘱状が交付されました。

上川原さんは「現在の地域課題は、少子高齢化と絆の再構築。立ち場は変わりますが、地域の一員として今後も取り組んでいきたいと思います」と、あいさつ。三河さんは「委員として責任を感じます。民生委員などの経験を生かし、できる限り努力していきます」と抱負を述べました。三河さんと香木さんの任期は、平成26年12月末までの3年間です。

PICKUP NEWS



長内校同窓生講演会  
スパーリングを披露する扇久保選手（右）

夢を—と熱く呼び掛け

1月20日、久慈高校長内校で同窓生講演会が開かれ、本市出身の総合格闘家・扇久保博正選手が後輩たちに熱いメッセージを送りました。扇久保選手は「格闘家への道のり」と題し、総合格闘技との出会いから修斗環太平洋王者に上り詰めるまでを説明。諦めない気持ちと努力の大切



Profile

おおぎくぼ ひろまさ

●久慈高校長内校在学中に総合格闘技を始める。平成18年に最年少でプロデビュー。平成23年4月に修斗環太平洋フェザー級王者となり、今年1月の防衛戦にも勝利した。

さを強調し、「夢を見つけない生懸命打ち込んでください。ぼくも世界王者という夢の途中です。一緒に頑張りましたよー！」と熱く呼び掛けました。講演後は、パンチ、キックのコンビネーションや関節技、スパーリングなども披露。すばやい動きと圧倒的な迫力に、生徒や教職員は何度も驚嘆の声を上げていました。世界王者を目指して奮闘中の扇久保選手。今後のさらなる活躍に注目です。

格闘界、映画界で活躍する本市出身者

扇久保博正 選手（右）  
大宮 浩一 監督（左）  
講演会で熱いメッセージ



完成した外屋敷公民館



コミュニティ助成

外屋敷町内会が  
公民館を整備

外屋敷町内会（畑中勇吉会長）は（財）自治総合センターが実施する宝くじの助成制度を活用し、公民館を整備しました。同町内会では、次の世代も安心して使える施設を建設するため、平成18年から積み立てなどを開始。今後、地区行事に活用し、世代間の交流などに取り組みます。宝くじの収入は、地域の活動にも役立てられています。

人の「居場所」 投げ掛け

本市出身の映画監督・大宮浩一さんを講師に招いた介護福祉講演会は2月4日、市内催事場で開催。介護施設の関係者など90人が出席しました。はじめに、理想の介護を目指して奮闘する若者たちを映し出した大宮監督の作品で、平成22年度文化庁映画賞・文化記録映画大賞を受賞した



介護福祉講演会・上映会  
「ただいま それぞれの居場所」の一場面

「ただいま・それぞれの居場所」を上映。上映後、大宮監督は「介護は特別なものではなく、生活の一部だと思えます。利用者だけでなくスタッフの意味も込めた『居場所』。介護をする人が自分らしくいられるのであればこそ、相手を思いやれるのではないのでしょうか」と投げ掛けました。

人の思いや素の姿を映し出す大宮監督。これからも映画を通して「生きること」を問いかけて続けることでしょう。



Profile

おおみや こういち

●日本大学在学中から映像制作に参加する。CMや教育映画などの制作を経て、平成5年に大宮映像製作所を設立。新作「季節、めぐりそれぞれの居場所」が4月公開される。



トロフィーや盾を手し、記念写真に納まる受賞者の皆さん

教育奨励賞・市民文芸賞

文化・功績 たたる  
体育の

教育奨励賞・市民文芸賞の表彰式は2月16日、市防災センターで開催。文化・体育の各分野で県第1位を獲得するなどした19人、2団体の功績をたたえました。受賞者は次のとおりです。（敬称略）

- 【教育奨励賞文化賞】
- ▼外森聖風（宇部中3年）：県交通安全ポスターコンクール中学校の部最優秀賞
- 【教育奨励賞体育賞】
- スポーツ賞
- ▼内間木心美（久慈東高2年）：全国高校柔道選手権県大会・女子個人無差別級優勝▼松館真也（久慈高2年）：同大会・男子個人60kg級優勝▼中森優弥（久慈拓陽支援学校高等部2年）：全国障害者スポーツ大会・陸上競技少年男子100m第3位
- 少年スポーツ賞
- ▼佐藤大知（長内小5年）：県小学生学年別柔道大会・小学5

- 年男子軽量級優勝▼落合小春（久慈湊小5年）：同大会・小学5年女子軽量級優勝▼松前哲（久慈小6年）：全国小学生陸上競技交流大会・6年男子100m第3位▼三船十段記念館柔道スポーツ少年団（小学生女子）：知事杯争奪県少年柔道大会・団体小学生女子の部優勝▼久松泰斗（長内中1年）：県中学校総合体育大会柔道競技・男子個人50kg級優勝▼見上心太（長内中3年）：同大会・男子個人73kg級優勝▼石川慶悟（同）：同大会・男子個人81kg級優勝▼菅原拓海（待浜中3年）：同大会・男子個人55kg級優勝▼三浦七海（久慈中1年）：同大会・女子個人44kg級優勝▼切金美希（久慈中2年）：同大会・女子個人57kg級優勝▼小袖英人（三崎中1年）：県中学校総合体育大会陸上競技・中学1年男子1500m優勝▼長内中学校柔道部（男子）：県中学校総合体育大会柔道競技・男子団体優勝
- 【市民文芸奨励賞】
- ▼山本由佳子：随筆・舌の記憶
- 【市民文芸奨励賞】
- ▼高橋優希（久慈中3年）：小説・貸出屋「鈴ーリン」
- ▼水上見一郎：文芸評論・農民作家堀澤光儀「考」
- ▼我流：詩・辻ノ邯鄲
- ▼永遠
- ▼日影野文太郎：俳句・流水

県上位入賞者を表彰

スポーツ奨励賞

スポーツ奨励賞の表彰式は2月9日、市役所で開催。各種県大会で上位入賞を果たした次の13人、2団体に賞状を贈りました。（敬称略）

【スポーツ奨励賞】

- ▶杉原垂湖（久慈東高2年・柔道）▶伊藤慎（久慈高1年・柔道）▶久慈高校柔道部（男子）▶久慈高校柔道部（女子）

【少年スポーツ奨励賞】

- ▶吉田有社（久慈小5年・柔道）▶旭岡

- 貴祐（長内中2年・柔道）▶大内田智（長内中3年・柔道）▶遠山誠志（同）▶大尻真海（同）▶外館蘭志（久慈中1年・柔道）▶落合恒介（久慈中3年・柔道）▶高橋聖莉奈（同）▶岩瀬香穂（同）▶高橋白菜子（久慈中2年・陸上）▶東剛克（久慈中3年・ゴルフ）

3月中に申請しないと支給されません！  
**子ども手当**

平成23年10月～3月分の子どもの手当の申請期限が間近に迫っています。3月中に申請しないと手当は受給できません。まだ申請をしていない人は、忘れずに申請してください。

**申請方法**

必要書類を添え、市役所1階・子育て支援課に申請してください。(山形町の人は山形総合支所でも可)  
▶**必要書類**…①印鑑②請求書(お知らせに同封)③受給者本人と対象になる子どもの健康被保険者証(コピー可)④手当振込先の通帳(銀行名・支店名・口座名義・番号が分かる部分のコピー可)  
▶**申込期限**…3月30日(金)  
☎子育て支援課 ☎ 52-2169

**被災住宅を支援します**

東日本大震災で被災した住宅・宅地の復興を支援するため、利子補給や工事費などの補助を行います。平成23年3月11日以降、実施した工事等が対象。補助内容や手続き方法など、詳しくはお問い合わせください。  
▶**受付開始**…3月15日(木)～  
☎**災害復興住宅の融資利子補給**

新築・補修・改修、既存住宅債務ローンの利子を補給します。

☎**被災住宅の補修等工事費補助**  
補修、耐震改修、バリアフリー改修、県産材を使用した工事などを補助します。

☎**被災宅地の復旧工事費補助**  
のり面を保護するための工事などを補助します。  
☎**建築住宅課** ☎ 52-2120

観光のチャンス到来 **いわてDC開催!**  
☎商工観光課 ☎ 52-2123

**みんなで一緒におもてなし**

「おもてなし」は特別なことは必要ありません。たとえば次のことを心掛けてみましょう。まちの印象は出会った人の対応で大きく変わるものです。笑顔と真心でお客さんを迎えましょう!

**優しい心で迎えましょう!**

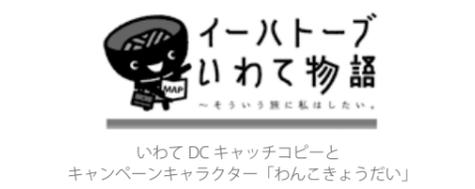
- 困っている人を見かけたら声掛けを
- 名物やおいしいものを教えましょう

**笑顔で迎えましょう!**

- 観光バスなど見たら、手をふって歓迎
- 記念撮影などは笑顔でお手伝い

**きれいな岩手で迎えましょう!**

- ゴミのない、きれいな環境を維持
- 落書きなどのない、きれいな街並みを維持



**皆でおもてなしを**

4月から6月までの3カ月間、岩手県で「いわてDC(デスティネーションキャンペーン)」が開かれます。これはJRと地方自治体が協力して開催する日本最大の観光キャンペーンです。岩手県単独で開かれるのは32年ぶり。全国から多くの観光客が訪れることが期待されます。全国の人が岩手や久慈の良さを知ってもらい、ファンになってもらう大チャンスです! お客さんに喜んでもらえるよう、みんなでおもてなしの輪を広げましょう!

**JR八戸線3/17 運転再開!**  
☎JR久慈駅 ☎ 53-3277

**八戸行き 時刻表**

久慈	夏井	侍浜	種市	八戸
5:14	5:18	5:33	6:03	7:19
5:53	5:57	6:12	6:42	7:48
6:45	6:49	7:04	7:47	8:49
10:00	10:04	10:19	10:49	11:51
12:51	12:55	13:10	13:43	14:45
14:46	14:50	15:05	15:35	16:44
16:51	16:55	17:10	17:40	18:45
18:04	18:08	18:23	18:53	19:51
20:16	20:20	20:35	21:05	22:03

**久慈行き 時刻表**

八戸	種市	侍浜	夏井	久慈
5:37	7:09	7:46	7:55	8:00
7:12	8:14	8:49	8:57	9:02
10:16	11:15	11:50	11:59	12:04
12:19	13:17	13:53	14:02	14:07
15:03	16:01	16:36	16:45	16:50
16:11	17:10	17:49	17:58	18:03
17:08	18:08	19:02	19:11	19:16
18:13	19:15	19:50	19:59	20:04
20:15	21:27	22:02	22:11	22:15

※「夏井」は「陸中夏井駅」の略

**17日に待望の再開**

東日本大震災の影響で種市～久慈間が不通となったJR八戸線が、3月17日(土)から全区間運転を再開します。再開日の3月17日は、列車「リゾートうみねこ(写真)」が久慈市初お目見え。私たちがとって大切な「足」の一つである八戸線。震災からの復活をみんなで祝福しましょう。時刻表(簡略版)は左表のとおりです。

**10日からは試運転**

再開に向けて3月10日(土)からは車両を試運転し、踏切の遮断機も作動。線路内への不意な立ち入りは危険ですので、絶対にやめてください。また同日から16日(金)まで、代行バスは階上～久慈間の運行になります。詳しい時刻は久慈駅にお問い合わせください。

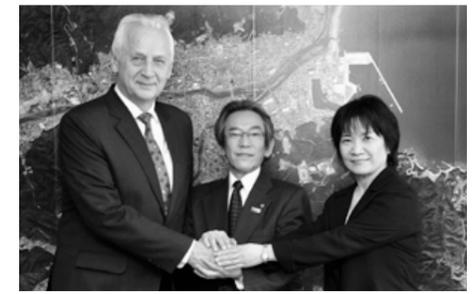
3/10～線路、踏切に要注意!

EXCHANGE  
在リトアニア、駐日の両大使が久慈市を訪問  
**姉妹都市関係を絶賛 友好をさらに**



**交流ランドで絆実感**

1月28日、やませ土風館で姉妹都市交流ランドを開催しました。会場では姉妹都市アメリカ・フランクリン市、リトアニア共和国クライペダ市と久慈市の交流事業の様子や、両市からの復興応援メッセージなどを紹介。市の外国語指導助手3人が講師となり、英会話教室も開きました。来場者は、パネル展示などから海を越えてつながる確かな絆を実感していました。



手を重ね、友好と交流を誓う両大使と山内市長

本市の姉妹都市クライペダ市があるリトアニア共和国駐在大使に任命された白石和子大使が2月3日、駐日リトアニア大使館のダンブラウスカス臨時代理大使とともに本市を訪問。久慈琥珀博物館を視察したほか、市役所では、山内隆文市長と今後の交流などについて意見を交わしました。白石大使は「困ったときに支えるのが真の友。支援し合う両市の姉妹都市関係に感銘を受けました」と絶賛。ダンブラウスカス臨時代理大使は「両市の関係はヨーロッパでも価値ある関係です。今後、経済や観光面でも連携していければ」と交流と友好がさらに深まることを期待しました。山内市長は、東日本大震災の津波の襲来状況なども説明。クライペダ市からの支援に感謝し、「両市の強いつながりが両国の関係にも通じるよう力を尽くしていきたいと思います」と述べました。琥珀が縁で平成元年に姉妹都市となった両市。リトアニアの独立運動の際、本市がクライペダ市を支援したことで、絆はより強くなりました。震災後は復興寄付金など多くの支援が同市から届いています。

OPINION  
市政懇談会を各地区で計6回開催  
**続々と地域の意見 全回答は3月中旬に**

**助成事業の概要**

市政懇談会で説明したコミュニティ助成事業の概要は次のとおりです。詳しくはお問い合わせください。  
☎まちづくり振興課 ☎ 52-2116

●**地域コミュニティ振興事業**

町内会やボランティア団体など、地域づくりに取り組む団体の活動に、市が補助金を交付します。補助率は事業内容によって経費の2/3か3/4。限度額は100万円です。

●**コミュニティ助成事業**

宝くじの収入を財源にした事業で、町内会や自治会が対象です。宝くじと同じで「当たらない」こともありますが、助成金額が大きく、必要な物を整備するのに有利です。



道路や子どもの教育など多くの意見が寄せられました

本年度の市政懇談会は、昨年12月から2月にかけて計6回開催。各地区の参加者と山内隆文市長が市政について意見を交わしました。本年度の締めくくりとなった2月2日の懇談会は、やませ土風館で開催。河南地区から21人が参加しました。はじめに山内市長が「復興のまちづくりについては、今後、災害が発生しても安全安心な食を生産・提供していただけるような基盤整備が必要と考えています。今日は市政に対する皆さんの意見をお聞かせください」と、あいさつ。市の担当者が地域のさまざまな活動に役立てられるコミュニティ助成事業などの内容を説明した後、懇談に移りました。出席者からは、コミュニティ助成事業に関する質問のほか、道路整備や除雪などについて続々と意見が。なかには「子どもの心を育てるために、本の充実を」という具体的な提言もありました。寄せられた意見や質問などは全て市の担当部署に伝達。3月中旬に全ての回答をまとめ、各支所などに書類を配置するほか、市ホームページにも掲載する予定です。



## 3.25日 市役所窓口 4.8日 臨時開設 9:00～17:00

転入・転出手続きなどの増加に合わせて市役所窓口を臨時開設します。開設窓口と主な業務内容は下記のとおりです。

▶開設日時…①3月25日(日)②4月8日(日)9時～17時

☎市民課 ☎52-2117・52-2118

### 【戸籍・住基関係】

●住民異動届(転出入届など)、戸籍の届け出の受け付け●住民票の写し、戸籍謄抄本、印鑑登録証明書などの交付

※パスポート、住基カード、公的個人認証の申請交付はできません

### 【国保関係】

●国保資格異動届の受け付け●各種県単医療届の申請受け付け

☎生活環境課 ☎54-8003

●イヌの登録●ごみ収集の問い合わせ

☎税務課 ☎52-2114

●所得、課税、扶養証明書の交付●資産(土地・家屋)、評価額、公課証明書の交付

☎収納対策課 ☎52-2368

●納税通知書、納税証明書の交付

☎社会福祉課 ☎52-2119

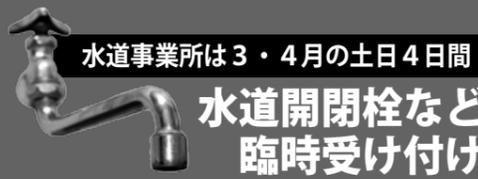
●障害者手帳、自立支援医療受給者証などの申請、交付

☎子育て支援課 ☎52-2169

●子ども手当、保育所関係の手続き

☎会計課 ☎52-2153

●市税などの収納●県収入証紙の販売



水道事業所は3・4月の土日4日間

## 水道開閉栓など 臨時受け付け

▶受付日時…①3月25日(日)②31日(土)③4月1日(日)④8日(日)9時～17時

▶業務内容…水道の開閉栓、料金収納など

☎水道事業所 ☎52-2189

※市役所外。場所はハローワーク久慈の近くです

## 5. 特別職の報酬 など

(平成23年4月1日現在)

区分	月額など	
	市長	80万1,000円
給料	副市長	66万4,000円
	議長	38万6,000円
報酬	副議長	33万1,000円
	議員	30万3,000円
期末手当	市長	6月期 1.4月分 12月期 1.5月分 計 2.9月分
	副市長	6月期 1.4月分 12月期 1.5月分 計 2.9月分
※平成23年度支給割合	議長	6月期 1.4月分 12月期 1.5月分 計 2.9月分
	副議長	6月期 1.4月分 12月期 1.5月分 計 2.9月分
	議員	6月期 1.4月分 12月期 1.5月分 計 2.9月分

※平成23年5月1日から平成24年3月31日までの市議会議員の報酬月額、議長34万7,400円、副議長29万7,900円、議員27万2,700円となっています

## 4. 一般行政職の 級別職員数

(平成23年4月1日現在)

区分	代表的な職務内容	職員数	構成比
1級	主事 技師	63人	22.6%
2級	主任	45人	16.1%
3級	主査	45人	16.1%
4級	総括主査 主査	82人	29.4%
5級	課長	35人	12.6%
6級	部長	9人	3.2%
計		279人	100%

## 6. 職員数など

### ■部門別職員数と主な増減理由 (各年4月1日現在)

区分	職員数		対前年増減数	主な増減理由
	平成22年	平成23年		
議会	6人	5人	-1	
総務	88人	87人	-1	
税務	24人	24人		○退職に伴う欠員の不補充(東日本大震災のため人事異動を延期)
労働	4人	4人		○企業誘致推進の充実
農水	23人	23人		
商工	21人	22人	+1	
土木	35人	35人		
民生	48人	49人	+1	○災害対応職員の充実
衛生	22人	22人		
教育	61人	60人	-1	○退職に伴う欠員の不補充(東日本大震災のため人事異動を延期)
病院	10人	9人	-1	
水道	13人	13人		○退職に伴う欠員の不補充(東日本大震災のため人事異動を延期)
下水道	9人	10人	+1	○災害対応職員の充実
その他	18人	17人	-1	
計	382人	380人	-2	

### ■定員適正化計画の数値目標と進ちょく状況

市では、久慈市総合計画後期基本計画に掲げた市政改革プログラムのもと、第2次久慈市職員定員適正化計画を設定。職員数の適正化に向けて、計画的に取り組んでいます。

▶計画期間…平成23年度から27年度までの5年間

▶計画目標…平成22年4月1日現在の職員数383人を、5年間で6人(1.6%)削減し、平成27年4月1日時点の職員数を377人にします

# 市職員の給与

現在の状況をお知らせします

市は住みよいまちづくりのため、さまざまな仕事をしています。市職員の給与は、毎月支給される給料と手当からなっています。給与は仕事内容や生計費、国家公務員や他の都市職員、そして民間企業で働く方の給与とのバランスを考慮したもので、市議会を経て条例で定めています。

今回は、市職員の給与や人数などの状況を皆さんにお知らせします。 ☎総務課 ☎52-2112

## 3. 職員手当

(平成23年4月1日現在)

区分	久慈市	国	
		期末	勤勉
期末・勤勉手当	国と同じ ※職務の級などによる加算あり	6月期	1.225月分 0.675月分
		12月期	1.375月分 0.675月分
		計	2.6月分 1.35月分
		※左と同じ	
扶養手当	国と同じ	●配偶者1万3千円 ●配偶者以外6,500円(配偶者がいない場合は1人目1万1千円) ●特定年齢にある子1人につき5千円加算	
		●借家・借間…家賃に応じ最高2万7千円	
住居手当	国と同じ	●交通機関利用者…負担している運賃の額に応じ最高月額5万円 ●交通用具利用者…通勤距離に応じた区分による額(3千円～2万4,500円)	
		●交通機関利用者…負担している運賃の額に応じ最高月額5万5千円 ●交通用具利用者…2千円～2万4,500円の範囲内	
通勤手当	●交通機関利用者…負担している運賃の額に応じ最高月額5万円 ●交通用具利用者…通勤距離に応じた区分による額(3千円～2万4,500円)	自己都合 勤奨・定年	
		勤続20年	23.5月分 30.55月分
		勤続25年	33.5月分 41.34月分
		勤続35年	47.5月分 59.28月分
退職手当	●借家・借間…家賃に応じ最高2万7千円	自己都合 勤奨・定年	
		勤続20年	23.5月分 30.55月分
		勤続25年	33.5月分 41.34月分
		勤続35年	47.5月分 59.28月分
		最高限度額 59.28月分 59.28月分 ※勤続年数20年以上で勤奨退職の場合、4号級を特別昇給 ※定年前早期退職特例措置(2～20%)	

### ■特殊勤務手当の状況 (平成22年度普通会計決算)

区分	全職種	
	職員全体に占める手当支給職員の割合	5.2%
支給対象職員1人当たりの平均支給年額	3万2,720円	
手当の種類(手当数)	13	
代表的な手当の名称	支給額の多い手当	社会福祉業務手当、徴収手当、往診手当
	多くの職員に支給されている手当	社会福祉業務手当、徴収手当

### ■時間外勤務手当の状況 (各年度普通会計決算)

区分	支給総額	職員1人当たり支給年額
平成21年度	1億1,998万6千円	30万9千円
平成22年度	1億6,922万5千円	44万3千円

## 1. 人件費と給与

### ■人件費の状況 (平成22年度普通会計決算)

人口	歳出額	人件費	人件費率
22年度末	A	B	B/A
37,979人	196億9,638万5千円	28億2,733万6千円	14.4%

※人件費には特別職に支給される給料、報酬を含みます

### ■職員給与の状況 (平成23年度普通会計予算)

職員数A	給与費				職員1人当たりの給与費B/A
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計B	
354人	12億7,242万1千円	2億894万2千円	4億7,766万8千円	19億5,903万1千円	553万4千円

※職員手当には退職手当を含みません

※給与費は平成23年度当初予算に計上された金額です

## 2. 平均給料月額や初任給など (平成23年4月1日現在)

### ■職員の平均給料月額と平均年齢の状況

区分	久慈市		国
	平均給料月額	29万1,833円	32万7,205円
一般行政職	平均年齢	39.8歳	42.3歳

### ■昇給期間短縮の状況

給与制度の改正により、平成18年4月1日から昇給期間の短縮は行っていません。

### ■職員の初任給の状況

区分	久慈市		国	
	決定初任給	採用2年経過後の給料月額	決定初任給	採用2年経過後の給料月額
一般行政職	大学卒	16万1,600円	17万7,300円	18万4,200円
	高校卒	14万100円	14万8,500円	14万100円 14万8,500円

### ■職員の経験年数別・学歴別の平均給料月額の状況

区分	経験年数			
	経験10年～15年未満	経験15年～20年未満	経験20年～25年未満	
一般行政職	大学卒	26万4,762円	31万4,433円	34万2,744円
	高校卒	23万8,865円	28万3,540円	32万8,060円

### ■ラスパイレス指数

ラスパイレス指数とは、国家公務員の給料を100として、久慈市の一般行政職の給料を比較するもので、給与水準を示す方法の1つです。平成23年4月1日現在の久慈市の指数は後日お知らせします。 ※参考…平成22年は94.0



広報リポーターの突撃取材!



ポイントを奪い大喜ぶ「まほろば久慈」の選手

声援にママはつらつ!

2月19日、市内ママさんバレーボールチームが元日本代表選手と親善試合を行いました。地元の声援を受け、ママさん選手は元気はつらつ。高さや速さに圧倒されながらもポイントを奪うと、勝ちほこるように万歳!客席も大盛り上がりでした。(小倉利之リポーター)



簡易測定器で放射線量を測定する生徒

待浜中学生が放射線学ぶ

待浜中学校は2月9日、放射線を学ぶ授業を実施。2年生が簡易測定器を使い、放射性物質からの距離と放射線をさえぎる物の種類によって、線量が低くなることを学びました。久慈地区初の公開授業は校外で大反響。他校の先生も視察に訪れました。(梅沢政隆リポーター)

復興と農業発展に団結!

久慈地方農業振興大会

久慈地方農業振興大会は2月9日、市内催事場で開催。農業関係者約320人が一堂に会し、東日本大震災からの復興と農業の発展に向けて団結しました。

同大会では、精力的に取り組む農業者を部門ごとに表彰。久慈地方農業表彰・明日を拓く担い手賞は馬場靖紀さん(夏井町・酪農)、同・意欲ある担い手賞は上村信志さん(山形町・畜産)が受賞しました。

上村さんは謝辞で「農業に携わることに誇りを持ち、より消費者から信頼される産地確立に努めます」と決意。大会決議では桑田正勝さん(侍浜町)が「皆で団結し、さらなる産地拡大に努めます」と力強く決議文を読み上げ、式典を締めくくりました。



受賞の喜びを胸に、さらなる飛躍を誓った上村信志さん



- 1/勢よくケッツすべり
- 2/鎮魂と復興の願いを込めて打ち上げた花火
- 3/冬の遊び盛りだくさん
- 4/もちまき前に仲町東通り子供会が大黒舞を披露
- 5/雪山を満喫して笑顔!



歓声上げて雪山を満喫

平庭高原スキー場まつり

雪山の醍醐味を満喫できる恒例のイベント「平庭高原スキー場まつり」は2月11日、同スキー場で開催。-10℃の肌を刺す寒さにもかかわらず、市内外から約2,800人が来場し、大いに盛り上がりました。

雪上宝さがしやケッツすべり選手権など、まつりは雪を生かした遊び心あふれるイベントが盛りだくさん。子どもたちは大きな歓声を上げ、冬の遊びのとりこになっていました。

夕方からは夢灯りも行い、会場が幻想的な雰囲気。東日本大震災の犠牲者の鎮魂と、復興の願いを込め、花火も打ち上げました。

顔を雪で真っ白にしながらいイベントを楽しんでいた山崎佳佳くん(霜畑小6年)は「寒いけど、みんなで雪で遊ぶのは楽しい!」とニコリ。ケッツすべり選手権初挑戦ながら3位に入賞した谷地きららさん(盛岡市・小学5年)は「スピードがあつて怖かったけど、おもしろい!次は1位か2位になりたいです!」と笑顔で再挑戦を誓っていました。

最新車両みなぎる意欲

消防車両交付式

2月15日、防災センターで消防車両交付式が開かれ、市から消防団第7分団と第8分団、第12分団に小型動力ポンプ付き積載車が各1台交付されました。

式終了後、団員は早速、最新型車両の装備や操作方法などを念入りに確認。より迅速な活動に向けて意欲をみなぎらせていました。



車両の装備などを確認する消防団員



火加減も見ながら、丁寧に塩づくり

海の体験充実に手応え

侍浜で塩づくり

教育旅行の受け入れを目指す侍浜町で2月14日、塩づくり体験会を開催。約30人が参加し、海水約180ℓを釜で2時間ほど煮つめ、うまみぎっしりの天然塩をつくりました。タコやホタテの薫製づくりなどにも挑戦。参加者は塩と薫製の出来栄から、海での体験充実に手応えを感じていました。

連携効果に理解深める

地域連携フォーラム

久慈市・岩手大学地域連携フォーラムは2月13日、市内催事場で開催。同大の岩淵明副学長など5人が復興支援活動や、水産業復興に向けた産学官の連携活動を紹介しました。熱い語りには出席者は興味津々。大学との連携によって生み出される効果と可能性の大きさについて理解を深めていました。



「地域と共に成長を」と熱弁した岩淵副学長



調印後、記念写真に納まる出席者

一体となって支え合い

市と日吉町が協定

市と日吉町内会(鹿糠勇会長)は2月6日、災害時要援護者名簿の共有について個人情報保護に関する協定を締結。鹿糠会長は「年々増加する高齢者世帯。行政と地域が一体となった支援を目指します」と力を込めました。協定締結は35団体目。近隣など、支え合い活動のさらなる広がりが期待されます。

白熱!一投ごとに歓声

市民ユニカール大会

市民ユニカール大会(久慈市スポーツ推進委員協議会主催)は2月5日、市民体育館で開催。誰でも気軽に楽しめるスポーツとあって、小学生と高齢者を中心に46チーム、約200人が参加しました。和気あいあいとした雰囲気ながらも勝負は白熱。一投ごとに歓声が上がリ、大いに盛り上がりました。



狙いをすましてストーンを投げる参加者



生産者の話を聞き、理解を深める長内小児童

食べた学んだ地産地消

シイタケ給食

地産地消ふれあい給食の日(シイタケ)は1月27日、市内小・中学校で開催。子どもたちはシイタケの特徴や、地元のものを選んで食べることの大切さを学びました。

浅水裕太くん(長内小5年)は「勉強してシイタケが好きになった!」と、シイタケ入りのまめ汁を一気にたいらげていました。

Child 子育て支援センターだより



行事予定

- 3/7(水) 赤ちゃんサロン 13:30~15:30
- 3/14(水) あそびの教室 終日  
※対象児が決まっているため自由来所はできません
- 3/15(木) うさこちゃんの部屋 11:00~
- 3/16(金) 育児講座 10:00~12:00  
※内容は「久慈特産物を使ったお祝いメニュー」。先着12人で託児あり。希望者は事前に申し込みください
- 3/31(土) 臨時休館日

ぜひご参加を

子育て  
応援  
講演会



- 3/28(水) 10:30~12:00・元気の泉
- 内容「ほめて伸ばす子育て」  
※事前に申し込みください(託児もあり)  
※当日、支援センターは利用できません

利用案内

- 子育て支援センター  
☎ 52-3210
- 対象…未就学児と保護者
- 利用時間  
①月~金 8時30分~17時  
②土 8時30分~13時30分
- 休館日…土曜日の午後、日曜日、祝日
- 利用料…無料

オススメの声

ここは私も子どもも大好きな場所。いろいろな人に会えるし、スタッフも親身に相談に乗ってくれるので助かっています!



久保杉壽子さんと長男の尚透くん(長内町)

Health 元気応援だより

介護予防教室実施中!  
出会いと運動で  
老後も元気に!



栄養士 泉田麻由美さん



看護師 畑田るり子さん

☎ 地域包括支援センター  
☎ 61-1557

皆さんは毎日の外に出ていますか? 毎日家族や友人と会話をしていますか? 毎日1回は笑っていますか? 知らず知らずのうちに「もう年だから…」が口癖になっていませんか? 何歳になっても体を動かすことで足腰が丈夫になり、新しい出会いや楽しく会話をすることで脳が元気になります。地域包括支援センターでは、その一助として65歳以上を対象とした一次予防教室と、身体機能の低下がみられる高齢

者を対象とした二次予防教室を開催しています。教室は、足腰の運動に口の運動と栄養指導を組み合わせたもので、高齢者も安心して取り組める内容になっています。元気の泉をはじめ山形総合支所、各支所、公民館、委託事業所などを会場に実施中です。さあ皆さん、家から一歩外に出て、新しい出会いをしてみませんか。そして足腰を丈夫にし、元気な老後を目指しましょう!

Human



NHK ドラマスペシャル「それからの海」の主人公に抜てき

”ガッツがある頑張り屋”  
無理と決めつけず何事にも挑戦を



慣れ親しんだ教室でリラックス。笑顔を広げる橋本さん

思い刻んで演じきる

「選ばれたときはビックリ。被災した方の気持ちを伝えられるよう、精一杯演じました」そう話すのは橋本麻由さん(山形中2年)。東北各地で行われたオーディションを経て、NHK土曜ドラマスペシャル「それからの海(3月3日・総合19時30分)」の主人公に抜てきされました。ドラマは田野畑村を舞台に、被災地の現状と人の絆を描いたもの。親類など被災した人たちから話を聞き、その思い

を自分の頭と心に刻み込んで大役を演じきりました。橋本さんの演技との出会いは市民おらほーる劇場。過去3回出演し、みんなで力を合わせ、一つのものをつくり上げる喜びを知ったといいます。「夜遅くまで練習したり確かに大変。でもお客さんの拍手が本当にうれしいんです」ステージで浴びた賞賛。それは橋本さんに、積極性までも与えてくれたといいます。成果伝えていきたい

そんな橋本さんも「バレーボールや近所の子と遊ぶのが好き!」と、素顔はあどけない普通の中学生。ただ挑戦心は人一倍で、周りの先生からも「ガッツがある頑張り屋」と評されます。ドラマ出演を「本当に良い経験」と話す橋本さんは、「無理と決めつけず何事にも挑戦。その成果をたくさんの人に伝えていきたいです!」と目を輝かせます。挑み、広げる自身の可能性。今後どんな舞台で輝きを放つのか。橋本さんの挑戦と成長が楽しみです。

橋本麻由さん(山形中2年)

Profile 両親と姉、兄の5人家族。バレーボール部に所属し、体育が得意科目。好きな女優は北川景子。「少し人見知り」と照れながら自己分析

Books 図書館だより

《市立図書館》

「みんなを守る命の授業」

片田敏孝・NHK取材班/著 釜石市教委/協力 NHK出版  
防災教育により、釜石市では多くの児童・生徒が東日本大震災の大津波から避難することができました。子どもたちの生きる力を育てた3つの教えと、いのちの防災教育を紹介する一冊です。



《市立図書館 ☎ 53-4605》

- 開館時間…9時~19時(土日は17時まで)
- 3月の休館日…5(月)、12(月)、19(月)、21(水)、26(月)
- 企画展・3.11あれから一年…震災、復興、防災関係の本などを展示・貸し出し 3/1(木)~18(日)
- 図書館映画会…3/10(土)①10時~②15時~
- チビッコの部屋…①3/10(土)②24(土)14時~

《山形図書館》

「奇跡のむらの物語」

辻英之/編著 農山漁村文化協会  
舞台は人口1,900人の長野県泰阜村。信号もコンビニもない。そんな村に毎年1,000人の子どもたちがやってきます。若者が村に根を張り、山村教育を通して地域再生の道を描いた本です。



《山形図書館 ☎ 72-3711》

- 開館時間…10時~18時
- 3月の休館日…5(月)、12(月)、19(月)、20(火・祝)、26(月)、30(金)、31(土)
- 巡回展・世界の平泉へ…世界遺産に登録された平泉の文化遺産資料を展示 3/2(金)~11(日)
- 企画展・新生活応援図書展…新生活に役立つような本を展示・貸し出し 3/13(火)~29(木)

移動図書館車の巡回希望



来年度の巡回希望を受け付けます。移動図書館車に「うちの近くに来てほしい!」などの希望がありましたら市立図書館(☎53-4605)までご連絡ください。

MY ★ Life ☎ Kuji



レネー・エストリッジさん

心に残る2つの小学校

本年度で荷軽部小学校と戸呂町小学校が閉校。最後の年に英語を教えられたことは私の誇りです。荷軽部小と一緒に粘土の花をつくり、戸呂町小ではバレンタインデーにチョコと笑顔をもたらしたり。とても大切な思い出です。

春からも、子どもたちとは山形小や山形中で、先生とも学校で会う機会があるでしょう。どの学校の皆さんも本当に親切ですが、この2校での経験は、特別なものとして心に残ると思います。2校と一緒に英語活動ができたことに感謝。皆さんありがとうございます。

市内の小・中学校で英語を教えている市の外国語指導助手の皆さんが、久慈市で生活して感じていたことなどを紹介するコーナーです

# 暮らしの暮情報

このページでは、暮らしに役立つ情報をお知らせします。

- ★本庁舎 ☎52-2111
- ★山形総合支所 ☎72-2111
- ★宇部支所 ☎56-2111
- ★侍浜支所 ☎58-2111
- ★山根支所 ☎57-2111

※市役所の各課の番号は直通電話です。また、上記の代表電話からつながります

## お知らせ

### 3/16ドクターヘリ講演会

平成24年度に岩手県でも運航を開始するドクターヘリ。講演会では、すでに運航している青森県の事例や、救命医療への高い効果を紹介いたします。入場無料。気軽にご参加ください。

- ▶日時…3月16日(金)13時30分～
- ▶会場…防災センター
- ▶講師…八戸市民病院・今明秀副院長

☎政策推進課 ☎52-2115

### スクリーンで復興コンサート

NHKでは3月10日、復興支援コンサートをBSプレミアムで生放送。2会場のうち福島会場の番組をアンバーホールのスクリーンで上映します。豪華メンバーの音楽を迫力の大画面と音声でお楽しみください。

- ▶アンバーホールでの上映…3月10日(日)15時50分～18時 ※無料

☎NHK盛岡放送局 ☎019-626-8811  
☎アンバーホール ☎52-2700

## 水道管凍結に要注意!

☎水道事業所 ☎52-2189

まだ寒い日が続いています。気温が-4℃以下になると水道管は凍結し、破裂する恐れがあります。不凍栓と水抜き栓の水抜きをしっかりと行いましょう!

### 駅の自転車引き取りを!

久慈駅の駐輪場で警告札が貼られている自転車の持ち主は、至急引き取りをお願いします。期限までに引き取られない場合は、放置自転車と判断して撤去・処分します。ご理解、ご協力をお願いします。

- ▶引き取り期限…3月16日(金)

☎生活環境課 ☎54-8003

### 命を守る防火習慣と対策を

3月1日(木)～7日(木)は春の全国火災予防運動期間。事業所などへの立ち入り検査、家庭への防火指導も行います。ご協力をお願いします。

防火習慣を!	◆寝たばこはしない◆ストーブは燃えやすい物から離す◆コンロなどから離れたときは消火
防火対策を!	◆住宅用火災警報器を設置する◆カーテンなどは防災品を使用◆住宅用消火器などを設置する◆隣近所の協力体制をつくる

☎久慈消防署 ☎53-0119

☎久慈消防署山形分署 ☎72-3119

### 就学援助の申請受付中

市は、経済的理由により就学困難な小・中学生の保護者を対象に学用品費、給食費などを援助しています。援助を受けるには、世帯収入が一定の基準未満などの要件があります。

平成24年度の申請を受け付けていますので、希望者は各学校に申し出てください。(すでに援助を受けている人も申請が必要です)

※申請は随時受け付け。認定された場合は、申請した月から援助対象になります

☎総務学事課 ☎52-2154

### 麻しん等予防接種は3月中

次の予防接種の接種期限は3月31日です。期限を過ぎると有料になります。まだ受けていない接種対象者は期限内に接種を受けましょう。

#### 【麻しん風しん混合予防接種】

▶対象…4月に小学校に入学する幼児や中学1年生、高校3年生で、昨年4月以降受けていない人

#### 【子宮頸がん予防ワクチン】

▶対象…接種を希望する中学1年～高校1年の女子 ※1回目の予防接種を3月中に受けてください

☎保健推進課 ☎61-3315

### 3/18 田野畑で復興市!

街の賑わい創り復興市 in 田野畑を開催。県内各地の物産品販売や郷土芸能の発表などを行います。復興に向け、みんなで集まってにぎわいづくり!ぜひご来場ください。

▶日時…3月18日(日)10時45分～14時30分

▶会場…田野畑村アズビーホール  
☎岩手県北バス久慈営業所 ☎53-5200

## 募集

### 久慈市消費生活モニター

生活関連物資16品目の店頭価格調査や、消費生活に関する情報・意見を提供するモニター10人を募集。

▶対象…市内在住の20歳以上  
▶期間…4月1日から2年間  
▶申し込み…3月16日(金)まで  
☎生活環境課 ☎54-8003

3月31日までアナログ放送終了します!!

地上デジタル放送への移行日は3月31日です。今すぐ視聴準備をしましょう! 分からない点などは下記までご相談ください。  
☎デジサポ岩手 ☎019-903-0101 ☎まちづくり振興課 ☎52-2116

### 新消防指令センターを公開

119番通報を受け付け、的確に対応するための高機能消防指令センターが完成します。3月の運用開始に伴い、一般公開を行います。事前に申し込みください。

期 日	時間 ※各回 15 人、40 分程度
3/21(木)	① 14:00 ② 14:50 ③ 15:40
3/25(日)	① 10:00 ② 10:50 ③ 14:00 ④ 14:50 ⑤ 15:40

▶場所…久慈広域連合消防本部(防災センター内)

☎久慈広域連合消防本部 ☎53-0119

### アンバーのボランティア

アンバーホールでは平成24年度に行う自主事業のホールボランティアを募集中。内容は入場券のもぎりやプログラム配布、会場案内などです。申し込みお待ちしております。

▶対象…高校生以上の市民(市内に通勤・通学する人を含む)

▶申し込み…3月16日(金)まで  
※3月下旬の自主事業で研修を予定  
☎アンバーホール ☎52-2700

### 市営住宅空きあります

住 宅 名	戸 数	家 賃 (月 額)
川井団地	1戸	2,900円～4,300円
宇部日向地区住宅	1戸	1,700円～2,600円
萩ヶ丘地区住宅①※	1戸	3,600円～5,400円
萩ヶ丘地区住宅②	1戸	4,300円～6,400円
みなと団地	1戸	17,500円～26,100円

※萩ヶ丘地区住宅①には説明事項があります。詳しくは問い合わせください

▶申し込み…3月15日(木)まで  
☎建築住宅課 ☎52-2120  
☎山形総合支所産業建設課 ☎72-2129

### 無料で学べる救命方法!

いざというときのため、知っておきたい救命方法。ぜひ受講ください。

▶内容…普通救命講習I(心肺蘇生法、止血方法、AEDの操作)  
▶日時…3月4日(日) 13時30分～  
▶会場…防災センター  
▶対象…中学生以上30人(当日は印鑑をお持ちください)  
▶申し込み…3月2日(金)まで  
☎久慈消防署 ☎53-0119

### 参加しませんか国際交流

内閣府では、「国際青年育成交流」、「日本・中国青年親善交流」、「世界青年の船」、など、平成24年度の国際交流事業に参加する青年を募集しています。

資料の請求や応募方法など、詳しくはお問い合わせください。  
▶募集期間…3月23日(金)まで  
☎県青少年・男女共同参画課 ☎019-629-5346

### 自衛隊の幹部候補生

幹部候補生は、約1年の教育終了後、幹部自衛官として勤務します。

種目	一般・技術	歯科・薬剤科
応募資格	20～25歳 ※大学院修士課程修了者は27歳まで	歯科…20～29歳 薬剤科…20～27歳 ※薬剤師以外は25歳まで

▶受付期間…4月27日(金)まで  
▶試験日…5月12日(土) ※受験科目によっては別日程の場合あり  
☎自衛隊久慈連絡所 ☎53-5419

【無料】陸上自衛隊音楽隊定期演奏会  
▶日時…3月17日(土)15時開演  
▶会場…盛岡市民文化ホール(マリオス)

当院で接種可能な予防接種  
▶▶▶▶▶定期・任意とも◀◀◀◀◀◀

三種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風)・二種混合(ジフテリア・破傷風)・BCG・麻疹・風疹・日本脳炎・Hib ヒブ(任意)・子宮頸癌ワクチン(任意)・インフルエンザワクチン・水痘ワクチン(任意)・おたふくかぜ(ムンプス)ワクチン(任意)・B型肝炎ワクチン(任意)・小児および成人の肺炎球菌ワクチン(任意)・A型肝炎ワクチン(任意)

小児科・内科  
アレルギー科 **ちだ医院**  
久慈市門前37-56-26 ☎61-3366

歓迎迎会 幹事様へ 早期予約特典あり

早期予約受付中

○各種飲み会  
○結婚式の三次会 etc

ご予約・お時間はご相談下さい。

久慈駅前店 駐車場完備  
☎52-1146

無料出張買取!

引越しのジャマな荷物はセカンドビズに売って身軽にお引越しまししょう!

使えるものなら何でも買取します

金・プラチナ高価買取中!

リサイクルショップ セカンドビズ  
久慈市中央2-35 ☎52-2570

これからはベストミックス時代へ  
太陽光発電システム+ガスハイブリッド

我が家は小さな「発電所」  
太陽光発電は当社にお任せ下さい。

株式会社 細谷地  
久慈市長内町 17-100-10 ☎53-2305

仏壇、神仏具、花環、葬儀一式

くじセレモニーホール  
メモワール・ノヴァ  
長内館・川貫館

24時間体制で受付しております

(有)野場造花仏具店  
久慈市十八日町 ☎52-2010

地域密着型 ケアステーション あさひ

内覧会開催  
3月18日(日) 午前10時～午後4時

お気軽にご来場ください。お待ちしております。当社でも随時説明を行っております。

中央介護センター(有)  
久慈市旭町10-63  
電話 61-3310

# 広がる神秘の異空間

洞くつの中に足を踏み入ると、そこには自然の神秘を感じさせる美しい氷筍が。一面に広がる異空間のような光景に、見学客は息をのみました



## 冬の造形美を堪能

内間木洞氷筍まつり

年に一度、冬にだけ楽しめる神秘的な造形美。2月12日、内間木洞氷筍まつりが開かれ、輝きを放つ美しい氷筍を390人が堪能しました。今年も厳しい寒さで洞内にしみ出す水が少なかつたため、例年より氷筍は少なめ。ただ高さは最大2・64メートルと近年最大級で、見学客は、高くそびえる姿に目を奪われていました。氷筍まつりを主催した小国自治会（二橋修会長）は郷土食を販売したほか、洞内を案内する若いスタッフも増やし、地域自慢の内間木洞を盛り上げ。二橋会長は「大切なのは地域のつながりづくり。今後もみんなで楽しみながら盛り上げていきたいですね」と意欲をみせていました。



期待を胸に洞くつに向かう見学客。氷筍以外にも見応え十分な内間木洞小国自治会の物販も大好評。インシシ鍋やそば、手作りピザなどに長い列

### 高くてきれい！

家族みんなで楽しみにしてきました。今年の氷筍は背が高くてすごくきれい。来て良かったです！



六角泰雅くん (葛巻町・小学3年)

### INTERVIEW

### 形もいろいろ！

氷筍を初見学！洞くつの中も思ったより簡単に歩けたし、いろいろな形の氷筍があって楽しかったです！



清水畑未来ちゃん (小国小1年)



## 編集後記

▶防潮堤を越え、まちをのみこんだ大津波。金刀毘羅神社で恐怖に震えたあの日から一年がたとうとしています▶震災直後の惨状や混乱、不安、支援、奮起…。この一年、多くを考えさせられました▶今回、広報で何を伝え、何を皆さんと一緒に考えていくべきか。悩んだ結果が「胸に刻み、心を一つにすること」でした▶自分自身3月11日を思い起こしたとき、少し薄れてしまった意識や感情があるような気がしました。恐怖のあまりなのでしょうか…。でも、それでも胸に刻まなければいけないのが震災だと思えます▶おびえるのではなく、これからのため、奮起する人を支えるために。震災前の生活を取り戻した人にも一緒に考えてもらえれば幸いです。(八重桜)

### 松岡愛結

ちゃん(3歳)  
松岡良治さん、裕美さんの長女(大川目町)



佐々木心花ちゃん(1歳)  
小袖明雄さん、洋子さんの孫(栄町)



未就学の子どもの写真を募集します。写真と子どもの氏名などを添えて、広報くじ担当(☎52-2116)に応募ください。写真はお返します。